

被保険者の皆さまへ

## けんぽタイムズ 2号 令和5年6月号

こんにちは 鉄道弘済会健康保険組合です。

梅雨の晴れ間が待ち遠しい季節となりました。  
健診結果に関することや、健康上で心配なことはありませんか。  
皆さまの健康増進や医療費抑制、健康づくりに  
お役立ていただきたく、「けんぽタイムズ」を配信いたします。

■ホームページの「お知らせ」をご利用ください。

＜鉄道弘済会健康保険組合 HP＞

医療制度改正等の情報提供や特定健診、郵便検診、健康ウォーキング大会など、  
各種申請書などの利用にホームページをご利用ください。



### その悩み、「健康相談ほっとライン」で相談してみませんか

専用フリーダイヤル ☎ 0120-531-008

経験豊かな医師、保健師、看護師などの相談スタッフが、24時間・年中無休体制で電話による相談に応じています。健康・医療・介護・育児・メンタルヘルスなどに関する相談にきめ細かくアドバイスいたします。

**プライバシーは厳守されます。会社及び健保組合、事務担当者など第三者に情報が伝わることは一切ありませんので安心してご相談ください。**

委託先 T-PEC(株)

主な相談内容 健康相談・医療相談・介護相談・育児相談・メンタルヘルス相談・医療機関情報等の提供

ご利用対象者 鉄道弘済会健康保険組合の被保険者・被扶養者

相談時間 24時間サービス（年中無休）

相談料 無料

相談スタッフ 医師：88名、相談スタッフ：220名(保健師助産師、看護師、心理カウンセラー、公認心理師、臨床心理士、産業カウンセラー・ケアマネジャーなど)、オペレーター：162名 合計：470名  
(2022年4月現在)

↓ 次のページ 相談事例をまんがで紹介いたします。

# 認知症？物忘れ？それとも？



## 「健康相談ほっとライン」ティーペックの健康相談サービス

大切な家族が「認知症ではないか？」と心配になられる方も多いようです。今回は、80歳代のお父様の物忘れが多くなってきたことに気づき、認知症ではないかと心配されたお客様からの相談をご紹介します。

認知症と加齢による物忘れの区別はなかなか難しいものです。一般的には物忘れによって日常生活に支障をきたしているか、本人が物忘れを自覚できなくなっているか、物忘れの範囲は経験の全体かなどが認知症に気づくためのサインと言われています。ご相談いただいたお父様の場合は、ご高齢ということで認知症を疑うだけではなく、うつ病などの心の変化にも注意する必要があります。また、体調が悪くてもその症状をうまく伝えられないこともあります。そのため、物忘れの内容だけではなく、最近の様子や顔色、生活の様子や変化など幅広くお話を伺わせていただきました。

お客様のお話によると、お父様は半年ほど前に奥様を亡くされ、ひどく気を落とされており、また日中は引きこもりがちで、友人などとも会わずにお一人で過ごされることが多いとのことでした。ご高齢の方のうつ病は、症状が認知症と似ているものもあり、しばしば認知症と間違われることがあります。

認知症やうつ病の特徴は早期の段階では区別がつきにくく、どちらにしても気づかぬうちに進行していることもあります。そのため、最も近くにいるご家族が「なんか変だな？」と思われたときに、医療機関を受診し検査を受けていただくことをお勧めしました。  
※上記は回答例です。お客様により、アドバイスは異なります。

24時間健康相談サービスでは、「大切な家族にはいつまでも元気でいてほしい」と願うお客様のお気持ちに寄り添いながら、ご相談に対応させていただきます。

※本事例は、ご利用者のプライバシーを保護しつつ、簡潔にまとめる目的の範囲内で情報の編集・加工を行っています。  
※資料のご利用に関しては、ティーペックと契約している企業や団体様内のみに限ります。©2022 T-PEC CORPORATION All Rights Reserved.

鉄道弘済会健康保険組合

「健康相談ほっとライン」